2022年3月期第1四半期
決算概要

2021年 8月 5日

日本タングステン株式会社

目次

１. 第1四半期の経営成績の概況（連結）

２. セグメント別の状況

３. 財務の状況（連結）

４. 業績予想について

ご参考

1. 第1四半期の経営成績の概況（連結）

経済環境

新型コロナウイルス感染症による世界的な経済の落ち込みから、

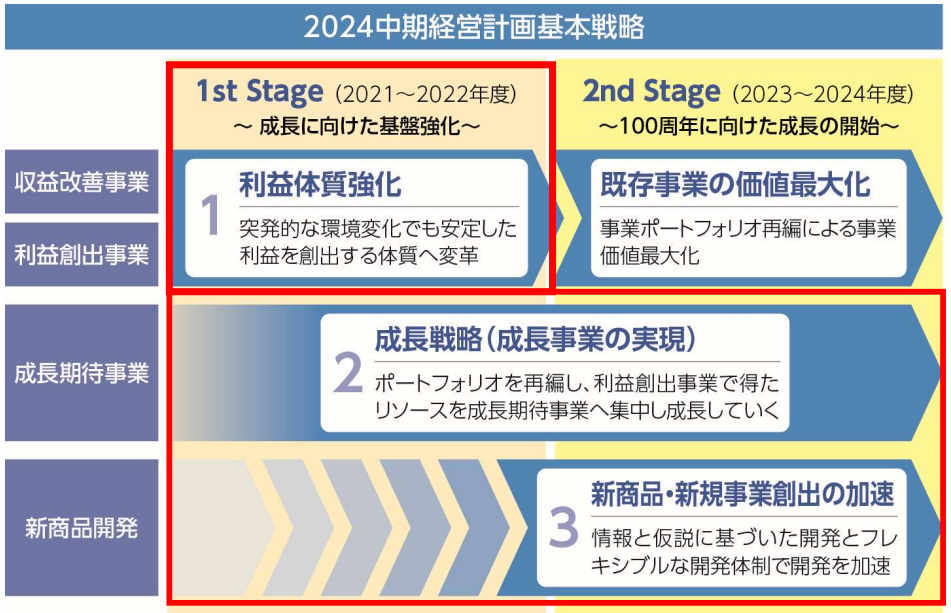
- 欧米諸国 ： 経済活動が徐々に再開され回復の兆しが見える
- 国内経済 ： 設備投資に持ち直しの動きがみられるものの、変異株ウイルスの流行拡大の懸念等から、依然として先行きは不透明

当社の注力市場

自動車部品市場・ ： 前年度下半期より引き続き好調
半導体・電子部品市場 ： 前年を上回る水準で推移
産業用機器・部品市場 ： 緩やかな回復が続く
衛生用品機器・医療用部品市場： 若干の回復傾向にあるものの設備投資抑制の影響がなお残っており、低調に推移

当社グループの取り組み

「日本タングステングループ2024中期経営計画」
成長に向けた基盤強化：突発的な環境変化にも安定した利益を創出する利益体質強化
ポートフォリオ再編による成長期待事業へのリソース集中
フレキシブルな開発体制による新商品開発の加速



1. 第1四半期の経営成績の概況（連結）

連結売上高

新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた前年同四半期と比べ、市場が回復してきており増収

連結売上高：28億8千3百万円

（前年同四半期比15.6%増）

営業利益

売上高の増加や操業度の回復に加え前年度に計上した減損損失の反動等により減価償却費も減少し、売上原価率が改善

営業利益：2億9百万円

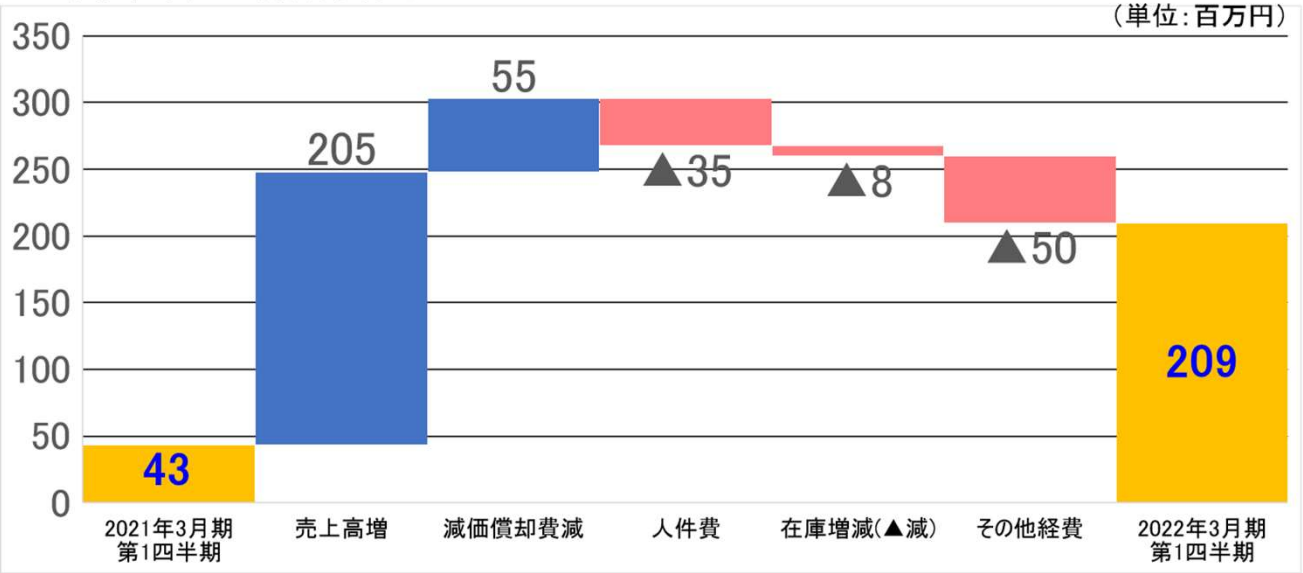
（前年同四半期比384.3%増）

□ 連結業績

（単位：百万円）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
売上高	2,495	2,883	388	15.6
営業利益	43	209	166	384.3
経常利益	114	281	166	144.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	218	141	183.5

□ 営業利益増減要因



1. 第1四半期の経営成績の概況（連結）

経常利益

営業外損益は前年同四半期とほぼ変わらず、売上高の増加や操業度が回復

経常利益：2億8千1百万円

（前年同四半期比144.9%増）

□ 連結業績

（単位：百万円）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
売上高	2,495	2,883	388	15.6
営業利益	43	209	166	384.3
経常利益	114	281	166	144.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	218	141	183.5

親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益として投資有価証券売却益を計上

親会社株主に帰属する四半期純利益：2億1千8百万円

（前年同四半期比183.5%増）

□ 主な経営指標

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
売上高営業利益率（%）	1.7	7.3
自己資本当期純利益率：ROE（%）	0.8	2.2
総資産経常利益率：ROA（%）	0.7	1.8
1株当り四半期純利益	31.92	90.90

☆「収益認識に関する会計基準」等の適用開始による、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微

セグメント別業績

（単位：百万円）

		2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
機械部品事業	売上高	1,516	1,562	46	3.0
	営業利益	153	255	101	66.1
電機部品事業	売上高	982	1,324	342	34.9
	営業利益	20	81	60	293.1
その他	売上高	—	—	—	—
	営業利益	—	—	—	—
調整額	売上高	△2	△3	0	—
	営業利益	△131	△127	3	—
全社	売上高	2,495	2,883	388	15.6
	営業利益	43	209	166	384.3

□ 機械部品事業 業績

売 上 高 ： 15億6千2百万円
（前年同四半期比　3.0%増）

営業利益 ： 2億5千5百万円
（前年同四半期比 66.1%増）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
売上構成比	60.7%	54.1%
営業利益率	10.1%	16.3%

□ 電機部品事業 業績

売 上 高 ： 13億2千4百万円
（前年同四半期比　34.9%増）

営業利益：　8千1百万円
（前年同四半期比293.1%増）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
売上構成比	39.3%	45.9%
営業利益率	2.1%	6.2%

2. セグメント別の状況

セグメント別四半期業績推移

（単位：百万円）

		2021年3月期				2022年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
機械部品事業	売上高	1,516	1,360	1,316	1,431	**1,562**
	営業利益	153	50	76	103	**255**
電機部品事業	売上高	982	859	1,162	1,284	**1,324**
	営業利益	20	20	137	206	**81**

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

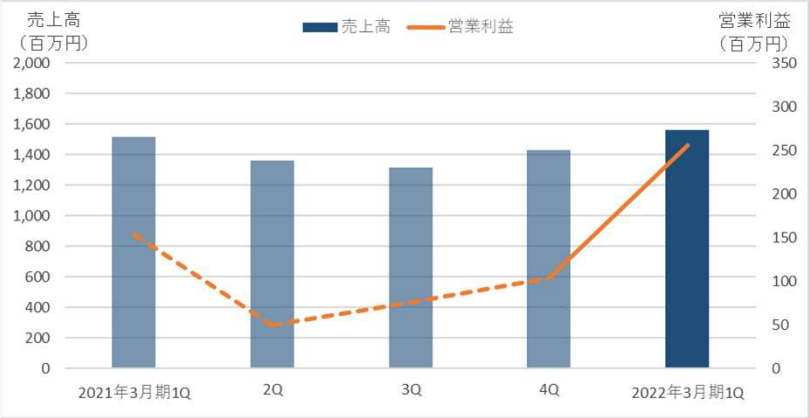
□ 機械部品事業

半導体・電子部品市場が好調であり、産業用機器・部品市場も、緩やかな回復を継続しており増収増益傾向。
しかし、衛生用品機器市場においては、新型コロナウイルス感染症による顧客の設備投資抑制の影響がなお残っており、全体としては緩やかな回復となっている。

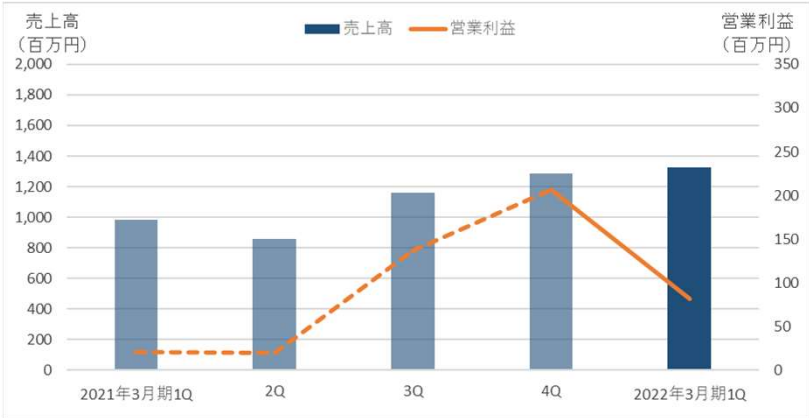
□ 電機部品事業

自動車部品市場の急回復により増収を継続。ブレーカー用電気接点も増収。
利益面では照明用タングステンワイヤー製品関連の費用増及び余剰在庫の評価・処分等の要因により、前年度第4四半期に対し一時的に減益。

□機械部品事業四半期別業績推移



□電機部品事業四半期別業績推移



機械部品事業

・半導体・電子部品市場は、前年を上回る水準で推移
・産業用機器・部品市場は、緩やかな回復を継続
・衛生用品機器市場は、若干の回復傾向にあるものの
　設備投資抑制の影響がなお残っており、低調に推移

（単位：百万円）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
売上高	1,516	1,562	46	3.0
営業利益	153	255	101	66.1

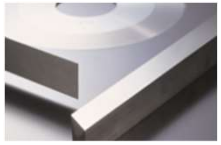
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

衛生用品機器・医療用部品市場

NTダイカッター ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響による顧客の設備投資抑制等が若干の回復傾向にはあるものの、減収

半導体・電子部品市場

情報関連機器のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板
▶ データセンター向けの大容量HDDの需要が引き続き好調であり、増収



産業用機器・部品市場

製鉄向けの耐摩耗部材 ▶ 顧客の在庫積み増し等、需要が回復し増収
産業用機械装置及び部品 ▶ 半導体市場の好況に牽引され、増収

電機部品事業

・自動車部品市場は、前年度下半期より引き続き好調
・産業用機器・部品市場は、工作機械及び半導体製造設備等の需要増により増収

（単位：百万円）

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額	対前年比 増減率（%）
売上高	982	1,324	342	34.9
営業利益	20	81	60	293.1

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

自動車市場

EV用接点 ▶ 主に中国市場が好調に推移したことにより増収
電装部品溶接用の抵抗溶接電極も好調に推移

概ね新型コロナウイルス感染症による影響以前の収益水準まで回復

当社の電気接点が
組み込まれた
配電盤のブレーカー

産業用機器・部品市場

産業用設備向けのブレーカー用電気接点 ▶ 工作機械及び半導体製造設備等の需要増により増収

3. 財務の状況（連結）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期 第1四半期	対前年比 増減額
総資産	14,994	15,405	411
負債	4,983	5,264	281
純資産	10,011	10,140	129

総資産

主に棚卸資産が減少したものの、設備投資の減少等により、現金及び預金が増加したことによる

（流動資産）

増加	現金及び預金	＋552
	売上債権	＋226
減少	棚卸資産	△192

（固定資産）

減少	有形固定資産	△92
	無形固定資産	△1
	投資その他の資産	△23

負債

主に当第1四半期の賞与引当金を計上したことによる

（流動負債）

増加	賞与引当金	＋229

※四半期連結貸借対照表の流動負債その他が前期末比528百万円増加した主な要因は、前期末に計上した賞与引当金（7月支払）からの振替による。

（固定負債）

増加	繰延税金負債	+43
減少	リース債務	△5

純資産

主に利益剰余金が増加したことによる

増加	利益剰余金	＋122

□主な経営指標

	2021年3月期	2022年3月期 第1四半期
自己資本比率（%）	66.7	65.7
1株当たり純資産（円）	4,151.88	4,205.88

今後の見通しと業績予想

今後の経済見通しについては、新型コロナウイルス感染症の変異株ウイルス拡大による影響が懸念されるものの、当社グループの第１四半期業績は、想定よりやや好調に推移している。

各市場の回復動向を慎重に見極めていきながら、現段階では、2022 年３月期第２四半期及び通期業績予想は、連結、個別ともに2021年５月20日に公表した予想から変更しない。

2022年３月期の連結業績予想（2021年４月１日～2022年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	5,400	14.8	350	—	410	199.6	280	88.3	116.30
通期	11,000	11.2	700	154.2	860	33.6	580	—	240.91

経営成績（連結）

（単位：百万円）

区分	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
売上高	2,598	3,126	2,811	2,495	2,883
営業利益	137	335	154	43	209
経常利益	188	370	205	114	281
親会社株主に帰属する四半期純利益	132	262	129	77	218
純資産	9,090	9,692	9,968	9,966	10,140
総資産	14,943	16,263	16,277	15,744	15,405

経営指標（連結）

区分		2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期
売上高営業利益率	（%）	5.3	10.7	5.5	1.7	7.3
自己資本比率	（%）	60.5	59.4	61.1	63.2	65.7
1株当たり純資産（BPS）	（円）	376.08	3,996.02	4,096.61	4,128.69	4,205.88

ご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。